



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大澤 勝
問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）齊藤 達男 TEL 03-3344-8861
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	7,664	8.9	923	23.0	876	22.9	809	22.4
2025年3月期第1四半期	7,041	7.0	750	△9.6	713	△10.4	661	△1.6

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 809百万円（22.2％） 2025年3月期第1四半期 662百万円（△0.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	145.68	—
2025年3月期第1四半期	119.05	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	43,684	16,435	37.6	2,955.13
2025年3月期	43,481	16,181	37.2	2,909.53

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 16,419百万円 2025年3月期 16,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	30,000	5.6	3,000	11.9	2,800	9.1	2,050	5.1	368.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2026年3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	5,564,200株	2025年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	8,026株	2025年3月期	8,026株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	5,556,174株	2025年3月期1Q	5,555,504株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、訪日外国人旅行者数の増加が過去最速ペースで続き、インバウンド消費は大きく伸長しました。加えて、個人消費の回復基調と円安による国内回帰の影響を受けて、レジャー需要は活発となり、宿泊・ゴルフ場などのリゾート市場は堅調な状況が続いています。

このような経営環境のもと、当社グループでは、インバウンド需要への対応をより強化するために、マーケティング施策やニーズに応じた商品・プランの造成などに努めました。また、ブランドイメージの強化を目指し、接客体制や施設設備の上質化に取り組み、より高品質なサービスの提供を図りました。同時に、多様な宿泊ニーズに対応するために、ゴルフコースに隣接した眺望抜群の高級ヴィラ“フェアウェイフロントヴィラ”、「暮らすように泊まる。」をコンセプトとした滞在型貸別荘“リソルスティ”、愛犬と泊まれる温泉付高級プライベートヴィラ“Dear Wan Spa Garden”など、新たな宿泊スタイルを積極的に展開し、事業の拡大を図りました。

さらに、グループの価値基準である「あなたのオフを、もっとスマイルに。」のもと、サービス体制を強化してお客様の満足度向上に努めるとともに、長期方針である3つの「やさしい」（人にやさしい・社会にやさしい・地球にやさしい）実践を進めました。気候変動を含む環境や人的資本・多様性などの社会課題へ向けた取組の一環として、全社員が健康診断の再検査等の健康管理を目的として取得できる「ヘルスケア休暇」制度、ホテルやゴルフ運営部門に特化した人材育成専門部署の設立、ゴルフ場・ホテルでの廃食用油の原料提供（SAF Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）などに取り組みました。

ホテル運営事業では、旺盛なインバウンド需要を捉え、各ホテルにおいてアジア・欧州など地域特性に応じたプロモーション施策を継続的に実施し、業績は好調に推移しました。主力ブランドである「リソルホテルズ」では、「物語のあるホテル」をコンセプトに、“ツーリストホテル”としての強みをいかしたブランド構築を進め、サービスと品質の向上に取り組みました。「観る・食べる・体験する・買い物する」をキーワードに、ホテルでの滞在をより充実したものにするコンシェルジュサービスを拡充。ホテル館内での日本文化体験イベントや、専任スタッフ「サービスコーディネーター」による周辺情報ご紹介などを実施し、お客様のニーズを満たすサービス強化を図りました。

また、別荘シェア利用事業の“リソルスティ”において、「暮らすように泊まる。」をコンセプトに滞在型貸別荘「スイートヴィラ」の施設数を80施設超まで拡大。利用ニーズに応じて選べる3つの滞在パターン（ウィークリー・マンスリー・デیلیー）を推進することにより、中長期利用やインバウンド、大人数での利用増加へとつながりました。さらに、一棟貸別荘の需要拡大やインバウンドの長期滞在の変化などを見据えながら、ハイクレードな施設やアーバンリゾートエリアでの施設拡大を進めました。

ゴルフ運営事業では、天候不順など気象要因の影響を受けたものの、コース・クラブハウスの上質化、ホスピタリティの強化などでゴルフ場全体の品質向上に努めたことで、売上は底堅い推移となりました。また、国内ゴルフフェアやインバウンド向けの宿泊ゴルフを強化したことで利用者が増加。特に、“フェアウェイフロントヴィラ”を展開する「瀬戸内ゴルフリゾート」では、韓国を中心としたアジア諸国からの宿泊を伴うゴルフ利用が好調となりました。また、「大熱海国際ゴルフクラブ」において2027年度の開業に向けた新たな“フェアウェイフロントヴィラ”の開発準備を推進しました。さらに、夏季シーズンの酷暑対策として、クーラー付きカートの全コース導入準備を進めました。

リソルの森事業では、ゴルフ部門（真名カントリークラブ）において、コースメンテナンスの向上やクラブハウス内施設の更新などサービスの上質化に努めたことにより、客単価の上昇及び会員権販売が順調に推移しました。また、リゾートエリアに滞在しながらゴルフを楽しむ「ゴルフ&ステイプラン」の利用において、空港間の送迎効果により、インバウンドの受注が大きく伸長しました。リゾート部門では企業研修や個人リゾートニーズを狙った新たな商品開発などに注力し、利用者数は堅調に推移しました。

福利厚生事業では、業界最大級のメニュー数と競合他社と差別化したプラン「精算プラン」「カフェテリアプラン（プラスアチャョイス）」「従量制プラン」を強みに、新規顧客の獲得に注力しました。また、大手金融機関と連携した新規顧客開拓が順調に進み、新規契約が増加しました。さらに、送客手数料収益の向上を図るため既存会員の利用促進を実施し、魅力的なサービスメニューの開発と利便性向上に努めました。これらの取組みにより業績は順調に推移しました。

再生エネルギー事業では、既存施設の管理を行いながら、売電事業及び自家消費型事業を展開。リソルの森の施設内においては、1.5MWの太陽光発電設備を運営。また、グループゴルフ場4ヶ所においては、ソーラーカーポートを稼働しています。今後も、ゴルフ場を中心に自家消費型事業を展開し、「地球にやさしい」企業グループを実践していきます。

投資再生事業では、市場環境を見据えながら、新規運営施設の仕入れ等の検討を進めました。

当第1四半期連結累計期間は、ホテル部門におけるインバウンド需要が前期に引き続き堅調に推移したことにより、売上高は7,664百万円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益は923百万円（同23.0%増）、経常利益は876百万円（同22.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は809百万円（同22.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、43,684百万円となり、前連結会計年度末に比べて202百万円増加しております。これは主に有形固定資産その他(純額)が179百万円増加、現金及び預金が40百万円増加等によるものです。

負債につきましては、27,248百万円となり、前連結会計年度末に比べて51百万円減少しております。これは主に短期借入金が1,500百万円増加及び1年内返済予定の長期借入金1,194百万円減少、預り保証金が167百万円減少、未払法人税等が113百万円減少、賞与引当金が109百万円減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月8日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,100	4,141
営業未収入金（純額）	1,958	1,778
商品	140	147
販売用不動産	2,088	2,129
貯蔵品	60	70
その他	932	1,061
流動資産合計	9,279	9,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,645	7,629
土地	18,315	18,341
その他（純額）	2,600	2,780
有形固定資産合計	28,561	28,751
無形固定資産		
のれん	258	245
その他	541	530
無形固定資産合計	799	775
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	4,840	4,826
固定資産合計	34,201	34,353
資産合計	43,481	43,684

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	411	405
短期借入金	900	2,400
1年内返済予定の長期借入金	4,278	3,084
未払法人税等	154	40
賞与引当金	303	194
役員賞与引当金	28	28
その他	4,319	4,831
流動負債合計	10,396	10,984
固定負債		
長期借入金	8,783	8,338
リース債務	996	983
従業員特別補償引当金	103	92
退職給付に係る負債	395	397
資産除去債務	196	197
預り保証金	6,309	6,142
その他	117	113
固定負債合計	16,903	16,264
負債合計	27,300	27,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948	3,948
資本剰余金	2,267	2,267
利益剰余金	9,955	10,208
自己株式	△20	△20
株主資本合計	16,150	16,404
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	15	14
その他の包括利益累計額合計	15	14
非支配株主持分	15	16
純資産合計	16,181	16,435
負債純資産合計	43,481	43,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	7,041	7,664
売上原価	2,025	2,177
売上総利益	5,015	5,486
販売費及び一般管理費	4,264	4,563
営業利益	750	923
営業外収益		
受取利息	—	0
受取賃貸料	2	2
受取保険金	1	1
還付金収入	2	1
その他	11	8
営業外収益合計	17	13
営業外費用		
支払利息	40	53
支払手数料	9	6
その他	5	0
営業外費用合計	55	60
経常利益	713	876
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
従業員特別補償引当金繰入額	1	—
その他	—	4
特別損失合計	1	4
税金等調整前四半期純利益	711	872
法人税、住民税及び事業税	44	55
法人税等調整額	3	6
法人税等合計	48	62
四半期純利益	663	810
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	661	809

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	663	810
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	662	809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	660	808
非支配株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結損益 計算書計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	3,438	2,329	1,002	237	27	6	7,041	—	7,041
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21	14	10	6	—	6	60	△60	—
計	3,459	2,344	1,013	244	27	12	7,101	△60	7,041
セグメント利益	586	486	84	1	8	7	1,174	△461	713

(注) 1. セグメント利益の調整額△461百万円には、セグメント間取引消去△46百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△414百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外収益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される 財	3,438	2,228	970	60	27	6	6,731	—	6,731
一定の期間にわたり 移転される財	0	100	31	177	—	—	310	—	310
顧客との契約から 生じる収益	3,438	2,329	1,002	237	27	6	7,041	—	7,041
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,438	2,329	1,002	237	27	6	7,041	—	7,041

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結損益 計算書計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	4,015	2,319	1,045	250	26	6	7,664	—	7,664
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	35	13	11	9	—	—	70	△70	—
計	4,050	2,333	1,057	260	26	6	7,734	△70	7,664
セグメント利益 又は損失(△)	824	311	83	13	12	△3	1,242	△366	876

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△366百万円には、セグメント間取引消去△51百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△314百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外収益であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される 財	4,014	2,208	997	69	26	6	7,323	—	7,323
一定の期間にわたり 移転される財	0	110	48	181	—	—	341	—	341
顧客との契約から 生じる収益	4,015	2,319	1,045	250	26	6	7,664	—	7,664
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,015	2,319	1,045	250	26	6	7,664	—	7,664

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	276百万円	304百万円
のれんの償却額	13	13